

2024年度

学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：2024年4月1日
至：2025年3月31日
(2025年5月 報告)

学校法人 東京メディアアカデミー
専門学校 東京声優・国際アカデミー

目的

学校教育法・学校教育法施行規則に則り、自己評価及び学校関係者評価を実施し、学生が質の高い教育を享受できるよう、また、学校運営の改善を図る。

【評価のポイント】

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

<学校評価委員>

小林 一之 (学識経験者) (敬称略・順不同)

金沢 真澄 (企業関係者) 石井 裕二 (企業関係者)

<学校教職員>

市原 光敏 (理事長/校長) 奥村 拓真 (広報部長) 阿部 奈波 (教務課長)

宮入 裕次郎 (教務部) 伊藤 紀子 (総務課長) 林 ひとみ (総務事務)

(2025年4月1日現在)

【評価実施要項】

学校関係者評価委員会を開催、市原理事長より学校評価について当校の
取り組みや自己評価結果について説明。目的・現状・改善策など説明し自
己評価書に基づき、学校関係者委員による評価が行われた。

【自己評価項目】

文部科学省による「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠し、
下記自己評価項目の通り、評価を行った。

(1) 教育理念・目標 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評 価 項 目	自己 評価	関係者評価	
			評価	意見
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4.0	・1・4 学生は成人 になっているか らこの項目はあ まり関係ないの ではないか。 ・留学生が増加し ているので彼ら に理解してもら うために英文の 理念等が必要で はないか。 ・手作り教育の実 現を成し遂げ、他 校との違いを打 ち出して欲しい。
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4		
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いている か	4		

1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3		・「ビジネス」という曖昧な方向感で入学してくる学生に「やりたいこと」を探す
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4		「方向付けをする」という姿勢で臨もうとするのはかえって理にかなった良いことだと思う。

①課題

- ・教育理念・目的等、HPや募集要項等に記載、また、説明会等も行っており、学生、保護者への周知は努めている。

②今後の改善方策

- ・情報公開、アンケートの実施、「学生規則」「学校生活の手引き」を通じて保護者へ周知・理解を求める。また、保護者への活動報告の取り組みを考慮したい。
- ・企業や教育機関との連携を構築し、現場経験の機会を増やし、社会のニーズに対応した人材の育成に努める。

③特記事項

- ・特になし

(2) 学校運営 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3.7	・学生の離脱を防ぐ努力が良い。学校運営の成果の1つを「学生の就職」と考えるときに JLPT の受験や企業説明会・技能評価試験等スケジューリングとそこに寄り添う責任者は大事。不採算な要素の整理等、効率化は図っているように
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3		
2-3	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3		
2-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4		

2-5	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	思う。 ・留学生とその保護者とのコミュニケーションは難しいと思われるが、今後重要なポイントとなると思われるので種々様々な方策をとってほしい。 ・留学生対応で日本語のPC教育が必要。日本人学生の確保が大きな問題。
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	

① 課題

- ・自己点検・自己評価を行い、情報公開を継続する。
- ・事業計画、運営方針の詳細の把握、各部署での綿密な会議が必要。

② 今後の改善方策

- ・学科ごとの段階的な事業計画を強化し、事前共有する。
- ・システム、セキュリティの強化を実施する。
- ・自己点検・自己評価を行い、情報公開を実施していく。

③ 特記事項

- ・年に2回前期・後期の始まりに講師会を通じて、今期の方針を確認している。
- ・情報システム化等による業務の効率化も、教務、広報、経理、事務などデータを共有化し作業効率化を図っている。個人情報の管理も徹底している。情報共有システム等により作業の効率化が進んでいる。

(3) 教育活動 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4		・PCの配置に改善予定があるので問題はない。 ・学校として、「シンボル(スター)」
3-2	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4		

3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	3. 7	を作ることを提案。有名企業での就職実績でも癖の強いブランディングで ONLY ONE を目指してほしい。他にない日本人も入学したくなるような共通要素で独自のブランディングができると良い。 ・留学生に対する対策がなされていると思う。
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4		
3-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3		
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3		
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4		
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4		
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3		
3-10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件をそなえた教員を確保しているか	4		
3-11	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3		
3-12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修参加や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3		
3-13	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4		

① 課題

- ・適切な人材の確保が必要。
- ・時代のニーズに合わせ、必要な資格取得に関する体制の強化。

② 今後の改善方策

- ・専門性の高い講師陣と連携し、教育体制を強化していく。
- ・学校としての目的を明確にした上で、専門性に特化したカリキュラム作りに今後も見直していく。

③ 特記事項

- ・専門業界の講師等により、内容の深い授業であり、各事務所の評価は高い。卒業生も業界で活躍している。

- ・業界のニーズに沿った講師、人材を採用しているので努力する学生は満足できるレベルに達している。
- ・本校にオーディションの参加企業が、毎年多数来校する。
- ・企業説明会を実施している。

(4) 学修成果 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
4-1	就職率の向上が図られているか	4	3.0	・声優養成科は過去の実績に基づきおこなわれているが、国際コミュニケーション学科は経験も浅く、これから組み立てていく必要があると思われる。 ・卒業生を社会に送り出すことでは今後の努力と成果が表れることを期待する。
4-2	資格取得率の向上が図られているか	3		
4-3	退学率の低減が図られているか	4		
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3		
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3		

① 課題

- ・国際コミュニケーション学科では資格取得の向上に努める。
- ・卒業生との連携（連絡）をより強化し現状の把握に努めていく。
- ・退学者率の低減については引続き減少に努める。

② 今後の改善方策

- ・退学者の低減が向上しているが、引き続き学生への対応を強化する。
- ・就職指導の強化により、更に進路の幅を広げていきたい。

③ 特記事項

- ・特になし

(5) 学生支援 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4		・パーソナルな面倒見の良さを感じる。

5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3	3.7	学校の評価が上がり、この学校にいたからこそ受けられる社会から受け取るメリットもうまれることを期待する。 ・日本人・留学生の就職がいかにしたら可能かを考慮して、支援を行ってほしい。
5-3	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4		
5-4	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4		
5-5	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	4		
5-6	保護者と適切に連携しているか	3		
5-7	卒業生への支援体制はあるか	4		
5-8	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4		
5-9	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3		

① 課題

- ・学生との面談の取組み体制を整備する。
- ・就職・進学等の体制の強化に努める。

② 今後の改善方策

- ・卒業生向けの支援体制をさらに強化していく。

③ 特記事項

- ・一人一人の学生の相談を聞くことにより、進路の選択や方針を確認している。

(6) 教育環境 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3.0	ハイテクな要素をあまり感じないので、「恵比寿らしさ」を表現できると良い。 ・学内外のインターンシップ等の研修にも力を入れてほしい。
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3		
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4		

① 課題

- ・建物の老朽化に伴い、施設などの点検、整備の強化。
- ・スタジオ施設などの教育環境の改善を実施できるように努める。

②今後の改善方策

- ・学生が快適に学習できるように学科ごとに必要な教育設備を整える。
- ・学科ごとの教育体制の充実に向け体制を強化させる。

③ 特記事項

- ・建物の耐震診断を実施済み。診断結果も学校部分に関しては文科省基準である IS 値（構造耐震指標）0.7 以上の結果であった。

（7）学生の受入れ募集 （適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1）

	評 価 項 目	自己 評価	関係者評価	
			評価	意見
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	3.0	留学生については、学生獲得に競合負けすることの無いブランディングを進め、良質な学校とつながるのが良いかと。 ・日本人確保に大きな課題あり。 ・声優養成科は主に広報活動で学生を集めたようだが、国際コミュニケーション学科は日本語学校、普通校、通信校等幅広いアプローチが必要。アプローチを綿密に考え、学生の確保に結び付けてほしい。
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3		
7-3	学納金は妥当なものとなっているか	3		

① 課題

- ・募集定員には達していないため、今後も引き続き、募集活動を見直す必要がある。

② 今後の改善策

- ・インターネット、学校訪問等により合理的、効果的な告知媒体を活用し、幅広く募集活

動を展開していく。

- ・募集活動において、オープンキャンパスの来校者増員に努め、魅力的なイベント等、活動内容をさらに研究する。

③ 特記事項

- ・学校訪問や学校説明会、ガイダンスなどを積極的に行っている。
オープンキャンパスでは毎回アンケート調査をし、改善に努めている。
入学者の全員がオープンキャンパス参加者。また、取組みに理解を持つ進路指導担当者、講師、法人との関係ができています。
- ・国の高等教育の修学支援制度の認定校となっている。

(8) 財務 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評 価 項 目	自己 評価	関係者評価	
			評価	意見
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	3. 7	・黒字転換で良い傾向。広告宣伝費や印刷費が下がり、人件費率が上がっていくのか。 ・固定費はなるべく変動費化するという根本を維持すれば良いと思う。 ・学生の増加が財務基盤の安定につながる。今後も学生数の確保が必要。 ・流動比率が極端に良く、安定した財務基盤がある
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3		
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4		
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4		

① 課題

- ・中長期的に学校の財務基盤を安定させていく。
- ・財務情報公開を整え、今後も継続させる。

② 今後の改善方策

- ・学科全体で学生数の改善を図る。 また、学費の見直しも必要か。
- ・少子化等の影響もあるので、妥当な収支計画を推し進めていく。
- ・財務情報の公開に今後も努める。

③ 特記事項

- ・当校は学校所有の建物であり、借入はない。

(9) 法令等の遵守 (適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1)

	評 価 項 目	自己 評価	関係者評価	
			評価	意見
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4.0	・問題なし。
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4		
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4		
9-4	自己評価結果を公開しているか	4		

① 課題

- ・自己評価等の公開実施を継続する。

② 今後の改善方策

- ・自己評価等の公開に向けて定期的に学校関係者委員会を開催し問題点を改善する。
- ・個人情報保護のための管理をより強化する。

③特記事項

- ・特になし。

(10) 社会貢献・地域貢献 (適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1)

	評 価 項 目	自己 評価	関係者評価	
			評価	意見
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3.3	・区役所よりボランティア活動の情報を取り、皆でやってみることはどうか。 ・恵比寿密着に特化して地域社会の貢献を果たしてほしい。留学生にもいかに理解させるかが問題。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3		
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3		

① 課題

- ・ボランティア活動に関する事が、あまり学生に周知されていない。

② 今後の改善方策

- ・ボランティア活動を積極的に奨励する。
- ・公開講座等は、更に強化、実施していく。

③ 特記事項

- ・地域との連携を強化するために、地域の団体に所属をしている。
- ・当校設備を TV 番組やドラマの撮影など、無償で貸し出している。